

# 竜門整骨院

～加藤竜也の頭の中～

# 竜門整骨院の想い

## 理念

スタッフ・患者様・地域の皆様の  
夢と楽しみを想造し続ける

## 目標

家族みんなで喜んで通える  
治療空間づくり

# 加藤竜也とは

1988年(昭和63年)7月8日に庄内幸町に生れる

加藤家の三男として伸び伸びと成長しました

小さい頃から、地域のお祭りが大好きで学校を抜け出してまで見ていました  
当時二歳の僕は、太鼓の上へあがると、自ら太鼓のばちを握りしめて離さないような、お祭り少年でした

庄内幼稚園から豊中市立庄内小学校へ入学(平成6年)

この頃は、学校では鬼ごっこや探偵など毎日走り回っていたように思います  
2歳からは兄と一緒にスイミングスクールに通い、8歳からはサッカー・野球、  
小学校の高学年の頃からバスケットボールをしていました  
スポーツを通して人との付き合い方や何かに打ち込む大切さを学びました  
学校生活では、生徒会活動やボランティア活動に率先して参加し、みんなを  
引っ張って行くのが好きな子どもでした  
この頃からケガが絶えず、よく地元の整骨院でお世話になっていました

# 加藤竜也とは

## 豊中市立第六中学校に入学(平成12年)

小学校の頃から続けているバスケットボール部に所属しました  
一年生の頃から先輩相手に自分の意見をはっきりと言うような性格でした  
この頃から有言実行の精神で、何事にも一所懸命に取り組んでいました  
中学校でも生徒会で副会長を務め、学校行事や校外活動にも積極的に参加していました

中学時代は、先生や友人・家族から沢山のことを教えていただきました  
この時の校長先生は、今でも僕の理念の根底にある考えの持ち主でした  
毎日、朝早くから中学校の周りを掃除しながら生徒に声掛けをする  
ただ時間があって暇だからしているのではないと思います  
トップが胡坐をかいて見ているだけと言うような考えではなく、  
自らが生徒や先生の立場に立って《現場を感じる》ことを大切にされていたのではないかと思います

# 加藤竜也とは

## 大阪府立箕面高等学校に入学(平成15年)

入学後すぐにアメリカンフットボール部にクラブ見学へ参加しそのまま入部  
三年生の時に副キャプテン、兼ディフェンスリーダーに就任しました

夏の練習試合の時に左膝内側側副靭帯を損傷し、練習どころか引退試合  
にも出れるか分からない状態となりました

その後の必死のリハビリとトレーニングにより引退試合には出場

このケガの期間で多くのことを学びました

仲間の存在、医療の大切さ、そして自分が本当に就きたい仕事を知ることが出来ました

## 卒業と同時にトレーナーの道へ

## 大阪リゾートアンドスポーツ専門学校に入学(平成18年)

高校時代にお世話になったチームのトレーナーさんを目標にトレーナーのこと  
について学びました

ここで今の仕事の基礎となる知識を学びましたが、さらに自分の知識・技術  
を高めるために国家資格取得を目標に西日本柔道整復専門学校へ入学

# 加藤竜也とは

## 西日本柔道整復専門学校に入学(平成20年)

知り合いの勤務先の整骨院で助手として勤務しました

朝は整骨院、昼休みに学校、また夜には整骨院、休みの日は以前から勤務していたリラクゼーションサロンでアルバイトの生活を三年間続けました

この頃は、学費を貯めるために必死に働きまくっていました

そうこうしていると三年の月日が経ち、国家試験に合格しました

一年後に勉強させて頂いた整骨院を退社しました

その後、整骨院を転々としながら、自分の生き方や治療に対する考え方に合う治療法を様々学び続けました

その結果、竜門整骨院でも取り入れている、骨盤ブロックによる全身の矯正法と出会いました。今までは、施術者の力で患者さんを治すことを考えて来ましたが、それではいつまでたっても自分で自分を治す力は強くなりません。この矯正法は、自分自身の神経の流れを正常な状態に整えてあげることで、自分で治す力を強くすることができます。

# 加藤竜也とは

自然界には、自然治癒力というものがすべての生きとし生けるものに備わっています。しかし、人間は、薬学や科学技術の発達により、自然の摂理に反した生活を営んでいることが多くあります。例えば、食事においても化学調味料や保存料など体に良くないものや、余計な手加えられたものを摂取していることが多くなっています。もちろん、それらすべてが害ではないものの、それらの影響で過剰にアレルギー反応が出たりしているのが現状です。花粉症などのアレルギー疾患が現代に多いのは、衣食住環境の現代化がもたらしたものだとは私は考えております。

無理やり体に力を加えるのではなく、一人ひとりの体に合った優しい力であなたの治す力を引き出すお手伝いをさせてください。

そして、あなたが自分で自分の体を良い状態に保てるスキルを今この時に、身につけてください。

そして、あなたの大切な人にも伝えてあげてください。

あなたの幸せとあなたの周りに、幸せがいっぱいあふれるような人生を...

平成28年10月3日 加藤竜也